

治療に苦慮した尿管結石の一例

梁鍼灸治療院
梁 茂寛

症例:60歳 女性

主訴:左腰背部痛・左臀部痛

既往歴:家族性高コレステロール血症、胆石症、花粉症、
頻尿

平成23年10月より肩こり、腰痛にて当治療院にて
治療

現病歴:昨年9月16日突然、左腰背部から臀部にかけて
激痛が出現、当日連絡あって即刻治療を行った

治療経過

・平成28年9月16日(初日):

反応点は左腰背部～臀部にかけて広範囲で著明な領域を認めた。下腹部、肝臓にも認められた。特に左の第12肋骨周囲の反応点が著明であった。

激痛のため腹臥位ができず、左側臥位にて治療を行った。

刺鍼方法としては反応点領域を水平刺にてカバーし4～5か所を単刺で刺激を与えた。

痛みが緩和したのち背臥位で上腹部、下腹部に刺鍼した。

治療経過

・平成28年9月17日(2日目):

前日の治療が効を奏したため仕事にでたが、午後3時頃より激痛が再度出現、治療院に来院した。

反応領域は左の腹斜筋から広背筋にまで広がり、前日より痛みが増大していた。

短時間に鎮痛効果を得るため反応点が強いポイントに自源抑制を目的に刺激を加えた。

鎮痛効果が得られたが、数分後痛みが出現。

治療経過

・平成28年9月17日(2日目の続き)

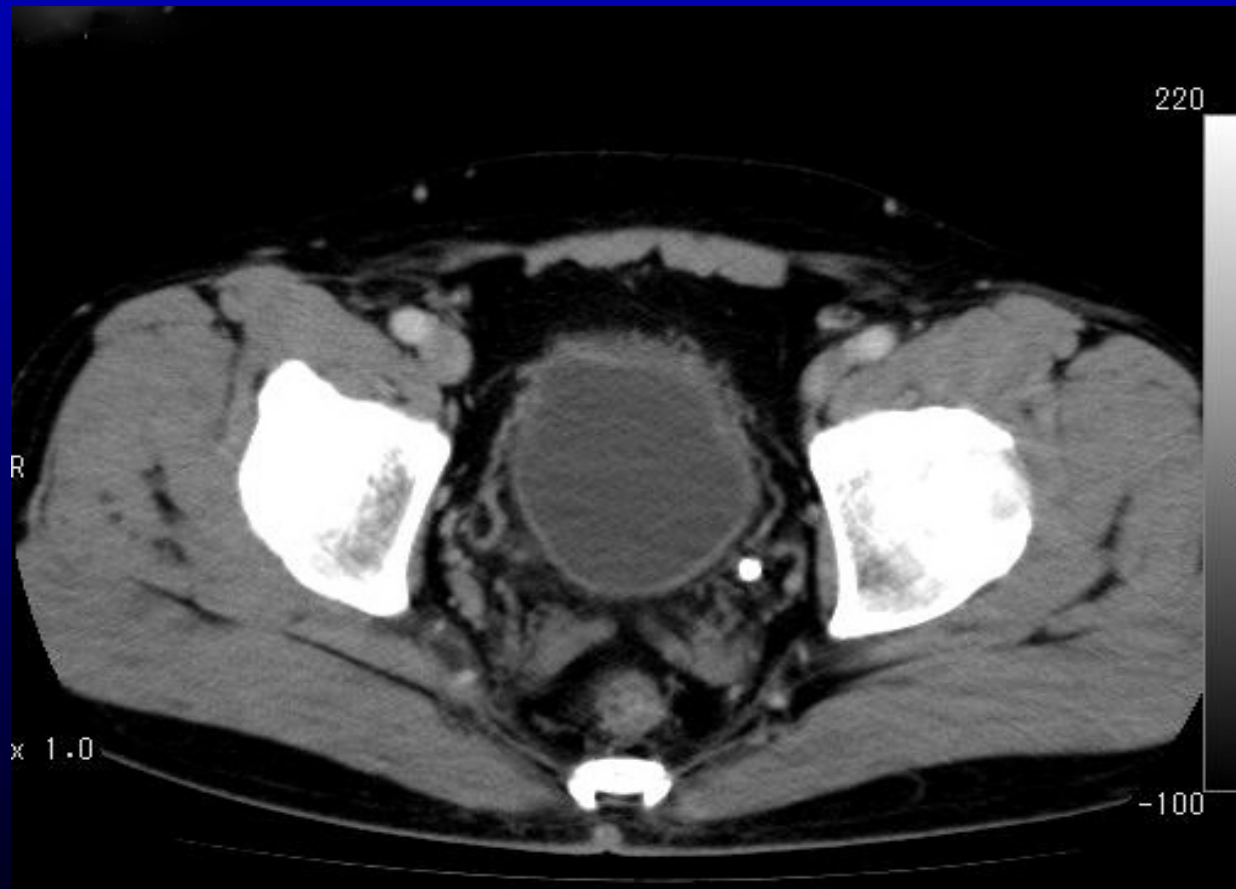
患者のバイタル

顔面蒼白、発汗、血圧 160/90、脈拍 80/分

約2時間繰り返し治療、患者の状態を考慮し救急搬送を依頼した。(患者バイタルを救急隊員へ)

結果

救急搬送後、家族より連絡あり、CT検査にて
左尿管結石と診断



尿路結石の基礎知識 ①

・疫学

上部尿路結石(腎・尿管) ⇒ 全体の95%

下部尿路結石(膀胱・尿道)

男女比 男 : 女 = 2.4 : 1

好発年齢 男=40歳代

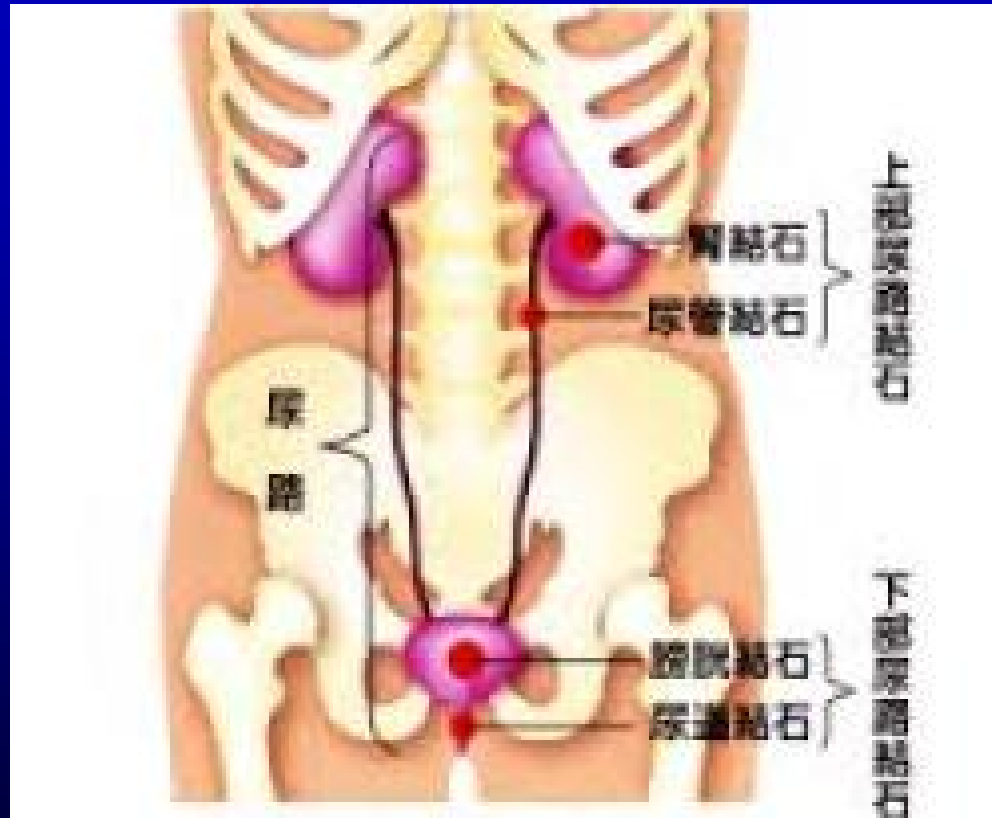
女=50~70歳(閉経後に多い)

・原因

シュウ酸など尿中の物質が固まってできる

シュウ酸を多く含むホウレンソウ、キャベツ、お茶(緑茶、紅茶)などの過剰摂取

尿路結石



尿路結石の基礎知識 ②

症状：激痛を伴う悪心・嘔吐などの消化器症状
顔面蒼白 血尿 etc

診断：単純レントゲン撮影・CT検査・超音波検査
DIP（静脈性腎盂造影）

- * 結石の性状が重要（大きさ・部位の閉塞状態）
- * 10mm以下 ⇒ 自然排石を期待

尿管結石のレントゲン撮影

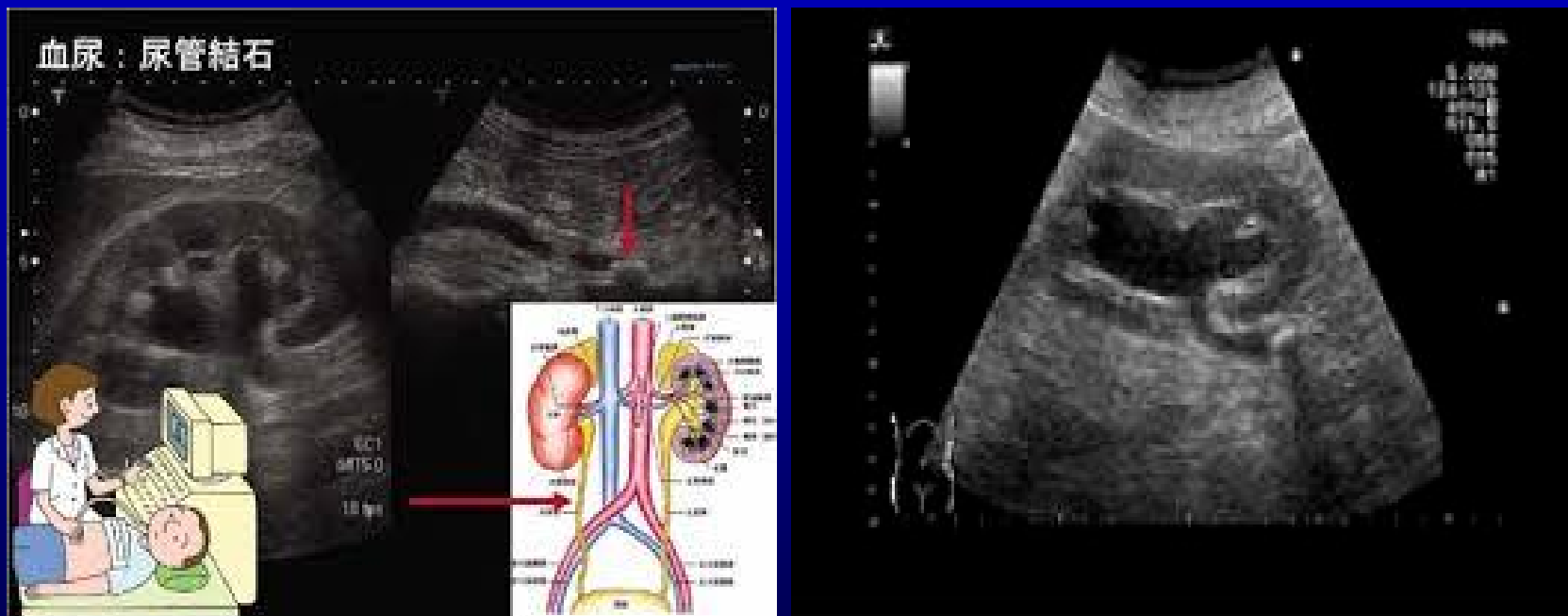


単純撮影



CT撮影

尿管結石の超音波像



尿路結石の基礎知識 ③

治療： 疼痛のコントロール（結石が10mm以下）

第1選択⇒非ステロイド抗炎症剤(NSAIDs)

主に座薬



上記 無効

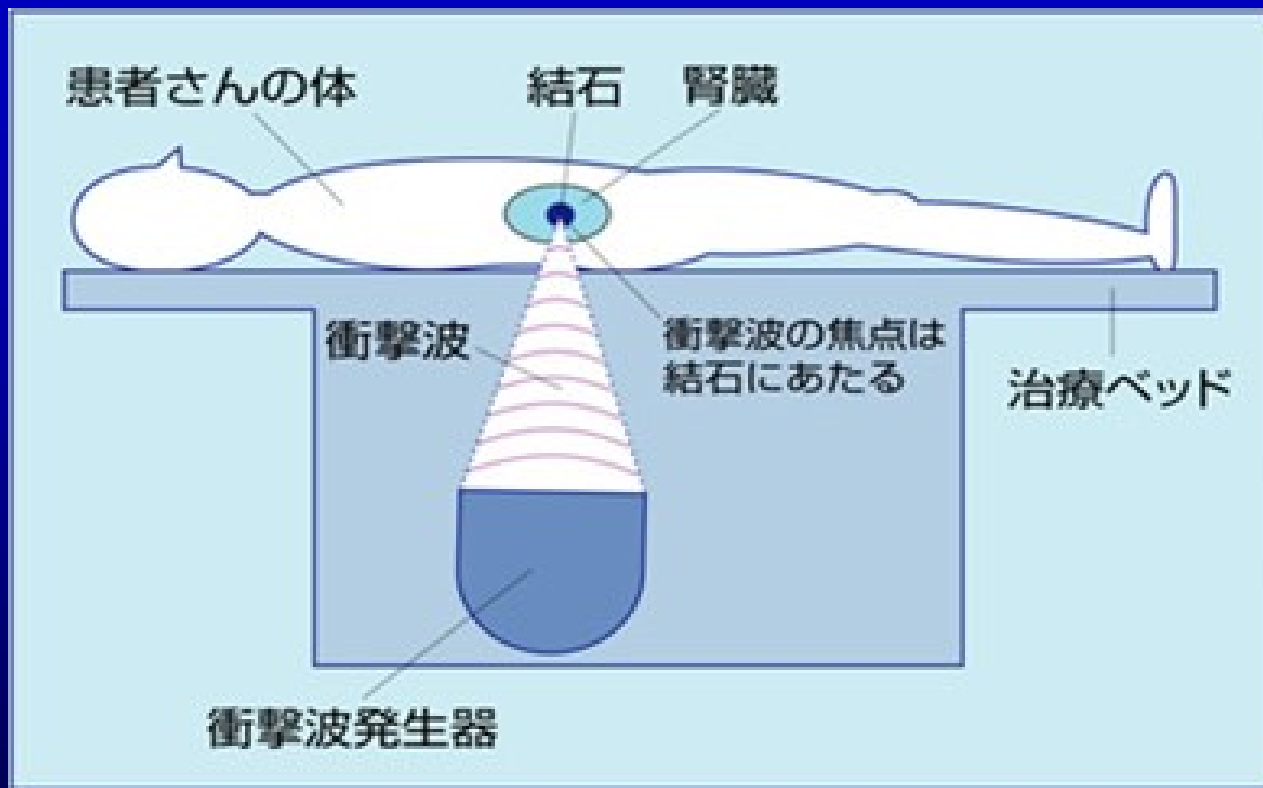


モルヒネ・アセトアミノフェン etc

: 結石が10mm以上で自然排石が望めない

体外衝撃波結石破砕術(ESWL)、内視鏡 est

尿路結石の基礎知識 ④



体外衝撃波結石破砕術(ESWL)

考察

- ・今回の症例は日常の治療で遭遇する症例のひとつと考えられる

- ① 繰り返し痛み(激痛)を訴える患者にどう対処すべきか？
- ② 治療家自身のスキルにより対処方法が変わるのか？
- ③ 冷静に治療(対処)するために必要なことは
⇒ 知識？ 経験？
- ④ 救急搬送したこと ⇒ 是か非か！

結果

・今回激痛を伴う尿管結石を経験し以下のことを痛感した

- ① 痛みの原因を模索し治療にあたる
- ② 治療を行いながら患者の状態を把握する
- ③ 予想しうる疾病の知識を身に着ける
- ④ 治療家自身(自分)の限界を把握する